

避難行動判定フロー

新型コロナウイルス感染症がまん延する状況下で、地震や風水害などの災害が発生し、避難所を開設する場合、感染症に万全を期することが重要となっています。しかし、避難所においては、密閉、密集した環境下での避難者同士の距離確保の問題や、断水やアルコール消毒液などの不足により、衛生環境の確保が難しくなることから、新型コロナウイルスなどの感染拡大リスクが高まる恐れがあります。

新型コロナウイルス感染症が終息する前に、避難所を開設するような自然災害が発生した場合に備え、平時の準備及び災害時の対応について、各家庭で考えてみましょう。

○避難所に避難することだけが避難ではありません

「避難」とは、「難」を「避」けることであり、**自宅での安全確保が可能な人は、感染リスクを負ってまで避難所に行く必要はありません。**自宅での安全確保が可能な場合には、自宅での避難の検討や、自宅が危険と考えられる場合でも、近くの安全な親戚や知人宅などに避難することも避難方法のひとつです。

内閣府からも、避難行動に関する判定フローが示されていますので、参考にしてください。



「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

